

**学校名** 蕨市立中央東小学校  
**所在地** 蕨市中央7丁目18番7号  
**電話** 048-443-3102

## 1 本校の概要

本校は、創立56年、児童412名、教員24名の学校で、「未来に向かって、一人一人が自分らしくかがやく、安心・安全な学校」を合言葉に教育活動を展開している。

司書教諭を中心に、週2回勤務の学校図書館教育支援員の協力の下、学校図書館の環境整備、読書活動の推進に力を入れている。

## 2 本校の実践

### (1) 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

#### ア 「年間50冊、5000ページ読書の推進」

本を読んだ冊数(低、中学年)やページ数(高学年)を読書カードへ記録し、読書への意欲の向上、読書の習慣化を図った。達成者には、学期ごとに校長から賞状が贈られる。

読書カードは音読カードと合わせて管理することを学校全体で統一し、保護者への啓発も併せて行うことで、家庭でも読書を推進できるようにしている。



↑ 読書カード



↑ 達成者への賞状伝達の様子

#### イ 「図書委員会によるイベントの実施」

学期ごとに、図書委員の児童が企画したイベントを実施した。

1学期に行った「読書クイズ」では、本の内容に関するクイズを考え、正解すると特製のしおりをもらうことができるようにした。本を読むことによりクイズに答えることができるため、シリーズに関する本を借りる児童が増え、学校図書館へ来室する児童も増えた。

2学期に行った「移動図書室」では、学校図書館の本を特別教室に移動し、自由に読むことができるようにした。本校は教室棟、管理棟、特別棟の3つの棟に分かれており、学校図書館は特別棟に設置されている。そのため、児童がいる教室棟から離れてしまっており、学校図書館に行くことに不便さを感じ、利用者が少ない現状があった。そこで教室棟に本を移動させ、学校図書館にある本を紹介することで、学校図書館へ足を運ぶきっかけづくりを行った。

そのため、休み時間には多くの児童が来室し、様々な本を手に取り本を読む姿が見られた。「この本、今度借りたい」と、本に興味を示す児童もいた。

### (2) 学校図書館等の環境整備

#### ア 「本棚の工夫」



今年度、表紙が見える本棚を購入し、季節に合った本を選定して、「今月のおすすめ」として配置した。表紙が見えることで興味を引き、手に取る児童が多く見られた。



新規購入した本は、すぐに分類番号ごとの棚に配置するのではなく、一定期間「新しい本」の棚に配置することで区別し、手に取りやすくした。

#### イ 「掲示物の工夫」



図書委員が「本の紹介ポップ」を作成し、学校図書館の入口や学校図書館内に掲示した。



学校図書館へつながる廊下に、本の紹介コーナーを設置した。児童に人気のあるシリーズの本を紹介するものや、推薦図書のパスター等を掲示し、学校図書館に足を運ぶきっかけになるようにした。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

年度別学校図書館貸出冊数統計

(4月～翌年3月、2022年度のみ4月～11月)

年度	2020	2021	2022
貸出冊数	4,699	4,828	5,764

今年度は、11月の時点で、過去2年の年間貸出冊数を既に上回っている。今後は市立図書館で運営している「わらび電子図書館」も有効に活用しながら、読書活動を推進していきたい。

### (2) 課題

2(1)でも述べたように、学校図書館の場所が遠いことが利用者の少なさに大きく影響している。今後も魅力あるイベントや工夫を行い、多くの児童が学校図書館に行きたいと思えるような取組を行い、読書推進を実施していく必要がある。